

知っておきたい年金のこと

## 国民年金の保険料納付が困難な学生は学生納付特例の手続きを

学生納付特例の対象者は



学生納付特例という学生とは、大学（大学院）、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校および各種学校、一部の海外大学の日本分校に在学する学生で、夜間・定時制課程や通信課程の学生も含まれます。なお、私立の各種学校については、修業年限が一年以上の課程の場合は都道府県知事の認可を受けた学校に限り、また、海外大学の日本分校については文部科学大臣が個別に指定した課程に限りです。

### 所得基準は

学生納付特例には所得基準があり、本人の所得が次の額以下の場合に対象となります。

「118万円＋扶養親族等の数  
×38万円＋社会保険料控除等」

申請者本人のみの所得をみるため、本人以外の家族の所得は問いません。

### 年金との関係は

老齢基礎年金を受けるためには、原則として保険料の納付済期間（保険料免除期間を含む）が25年以上必要です。学生納付特例の承認を受けた期間は、

この老齢基礎年金の受給資格期間に含まれます。ただし、老齢基礎年金の金額の計算対象となる期間には含まれません。

また、学生納付特例制度の承認を受けていれば、その期間は、保険料納付済期間と同様に障害基礎年金の支給要件となる対象期間に含まれます。

### 申請書の提出先は

申請書の提出先は、住民登録している市区町村の窓口と在学する大学等の窓口です。

大学等の窓口で申請手続を行うには、在学する大学等が学生納付特例事務法人の指定を受けている必要がありますので、よく確認してください。

保健福祉課戸籍担当  
電話 56・2123

## ご存知ですか？「国民年金基金」

国民年金基金は、老後に受取る国民年金（老齢基礎年金）の不足分を補うための上乘せ年金として創設された公的な年金です。

※平成25年4月から60歳以上65歳未満の方で、国民年金に任意加入されている方も加入できるようになりました。

詳しくは北海道国民年金基金（フリーダイヤル0120-65-4192）までお問い合わせください。

## 水道水の放射性物質検査結果



水道水の安全確認のため、5月16日に双珠別地区、中央占冠地区、トマム地区の蛇口から採取した水道水及び各水源（原水）の放射性物質の検査を実施しました。検査の結果、放射性ヨウ素および放射性セシウムは検出されませんでした。

検査項目	検査結果	検出限界値
放射性ヨウ素 <sup>131</sup> I	不検出	0.4Bq/kg
放射性セシウム <sup>134</sup> Cs	不検出	0.4Bq/kg
放射性セシウム <sup>137</sup> Cs	不検出	

- \* 1 平成24年4月1日から水道水のセシウムの新基準値は10Bq/kg（ベクレル毎キログラム）になりました。（厚生労働省）
- \* 2 不検出とは、「検出下限値未満」の意味を表します。

■お問い合わせ 産業建設課水道担当 電話56-2172

## 占冠村の放射線量の状況（6月）

### ■放射線量測定記録（6月11日測定）

【単位：マイクロシーベルト】

測定場所	天候	測定値	測定場所	天候	測定値
中央小学校グラウンド	晴れ	0.052	トマム小中学校グラウンド	晴れ	0.054
双民館グラウンド	晴れ	0.051	占冠へき地保育所グラウンド	晴れ	0.040
占冠地域交流館グラウンド	晴れ	0.051	トマムへき地保育所グラウンド	晴れ	0.042

※北海道の空間放射線率モニタリング結果（上川総合振興局0.0209～0.0780）と比較して平常レベルと判断されます。（「北海道放射線モニタリング総合サイト」 <http://monitoring-hokkaido.info/>）

■お問い合わせ 総務課総務担当 電話56-2121



### 病気の兆候を見逃すな！ ～占冠村清流大学で予防救急講座～



平成25年5月23日(木)、占冠村コミュニティプラザにおいて、占冠村清流大学の授業の一環として33名参加の中、予防救急講座を開催しました。

予防救急とは、文字のとおり事故や怪我及び病気を未然に防ぐために私生活のあり方を考え直すためのものです。

高齢者は、心臓や脳が原因の突然死が子どもに比べて格段に増加します。初期兆候を見逃さず、体に変化が生じたら最寄りの医療機関を受診するか、119番通報をしてください。その他に、転倒事故を防止するために家庭内の整理整頓やサンダルではなく、靴を履いて移動する等の配慮も忘れずに行うことが大事です。

座学を行った後には、心肺蘇生法の実技展示を行いました。

少しでも多くの方が怪我や病気を未然に防ぐために、日常生活を注意して送っていただけたらと思います。そして我々職員一同もより一層、村民の皆様のために務めてまいりますので、今後ともよろしくお願ひします。

#### 救急出場状況 (5月分)

急病	4件	(4人)
交通事故	2件	(1人)
その他	1件	(1人)
5月計	7件	(6人)
累計	68件	(63人)

※ ( )内は搬送人員

消防団員募集!!  
詳細は庶務係まで  
電話56・2119

富良野広域連合 富良野消防署占冠支署 ☎56-2119

#### 上川管内交通事故発生状況 (平成25年6月12日現在)

発生数		前年対比
人身事故	231件	-48件
死者	2人	-1人
傷者	276人	-79件

※交通事故は、決して他人事(ひとごと)ではありません。

誰もが当事者になる危険性があります。スピードダウン・シートベルト全席着用・安全確認・体調管理、ルールを守って交通事故防止に努めましょう!

- 市街地の歩行者・自転車事故 郊外の単独事故・正面衝突事故は後を絶ちません。
- 右折事故が多発し歩行者やバイク運転者が多数死亡しています。
- 飲酒運転による死亡事故が増加しています。

ドライバー・ライダーのみならず、近所など身近なところで起きています。交通事故は本当に身近なところで起きています。

## 交通安全

SAFTY DRIVE

村民の願いです  
続けよう交通事故死 0 の日  
平成19年2月21日から

2312日

SS 平成25年6月20日現在

■飲酒運転は身の破滅! それでもしすか?

●二日酔いによる飲酒事故が急増しています。しかも、「飲酒運転の発覚を恐れて」の逃走、ひき逃げ・当て逃げの最大の原因になっています。

●「寝たから大丈夫」はありません。飲酒した翌朝「息が酒臭い」「具合が悪い」は、身体にアルコールが残っている事の現れです。その状態で車を運転すれば、飲酒後すぐに運転を開始するのと同じく、立派な飲酒運転です。

●深酒の翌朝は要注意。アルコールは、思う以上に体に残っています。特に深酒をした翌日は運転を控えて下さい。

#### 夏の交通安全運動期間

【実施期間】

7月10日～19日

▽眠気を感じたら早めに休憩をとりましょう。

▽スピードの出すぎに注意しましょう。

▽余裕のある運転計画を立てましょう。